

子育てにかかわる支援事業アンケート調査
集計結果

平成29年6月

川 南 町

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査の結果	2
1 子どもの数、性別、年齢及び兄弟の構成	2
2 三世代同居、近距離居住の調査	3
3 安心して出産・子育てができるまちづくりに 必要だと思われる支援策	4
4 「病児・病後児保育」の利用料金について	6
5 公営塾の開催頻度、月謝等について	7
6 自由記載枠	9
参考 アンケート	18

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成28年3月に策定した「川南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向け、具体的な政策立案のために実施しました。

2 調査実施の要領

(1) 調査時期 平成29年5月

(2) 調査対象者 川南町立小中学校児童・生徒の保護者

本町の小学生及び中学生の保護者（PTA 戸数）を対象に、学校を通じてアンケートの配布及び回収を行いました。

(3) 参考とした他の調査

本調査は、平成28年10月に実施した『平成26年度策定「川南町子ども・子育て支援事業計画」の推進状況の把握・点検』に関わるアンケートの集計結果を参考とし、作成しました。

3 配布数・回答数

	配布数	回収数	回収率
小学生保護者	671	486	72.43%
中学生保護者	401	274	68.33%
合計	1044	760	72.80%

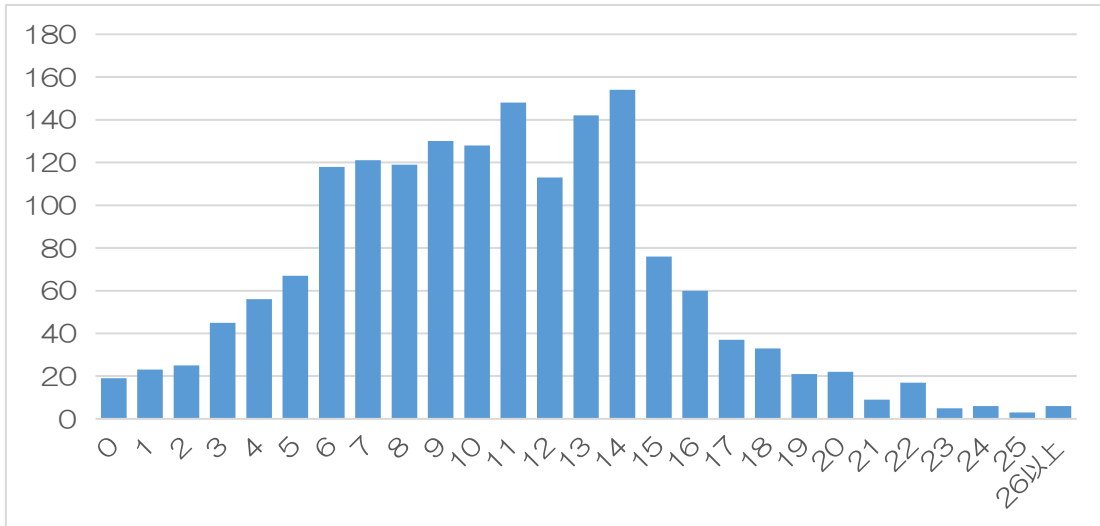
第2章 調査の結果

1 子どもの数、性別、年齢及び兄弟の構成

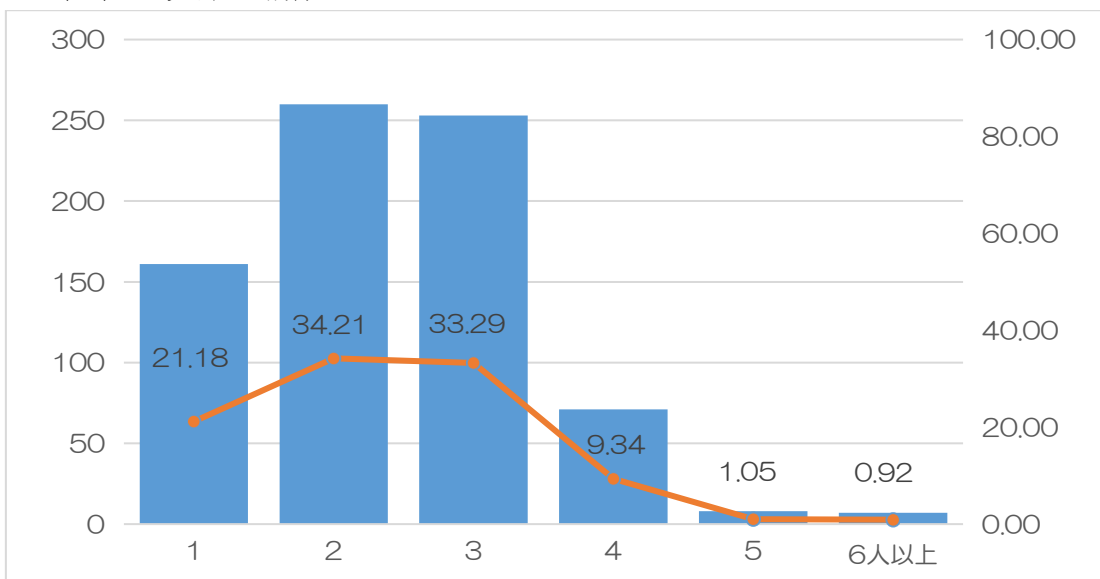
(1) 子どもの数 1,703人

(2) 性別 男子 849人 (49.85%)
女子 853人 (50.09%)

(3) 子どもの年齢分布



(4) 兄弟の構成



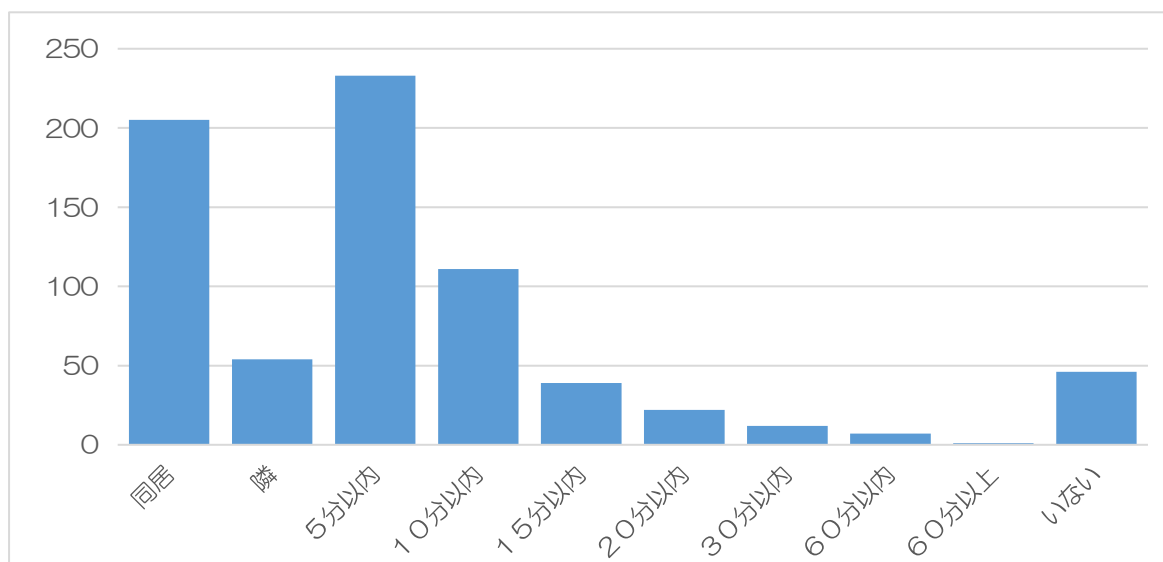
2 三世同居、近距離居住の調査

Q. 近くにおじいちゃん・おばあちゃんが住んでいますか？

(1) 近くにいる・いないの別及び「いる」と回答した人の町内外の別

近くにいる	町内	645	85.31%
	町外	66	8.73%
近くにいない		46	6.08%

(2) 時間的距離の分布



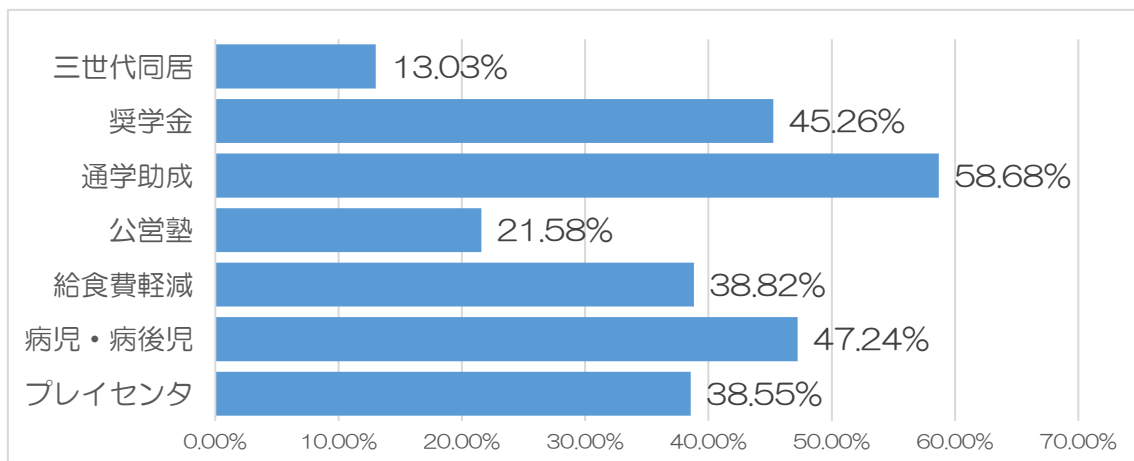
総数	同居	隣	5分	10分	15分	20分	30分	60分	以上	近くにいない	無回答その他
760	205	54	233	111	39	22	12	7	1	46	30
	26.97%	7.11%	30.66%	14.61%	5.13%	2.89%	1.58%	0.92%	0.13%	6.05%	
684											
90.00%											

3 安心して出産・子育てができるまちづくりに必要だと思われる支援策

Q. 必要だと思われる支援策に○をつけてください（複数回答可）。

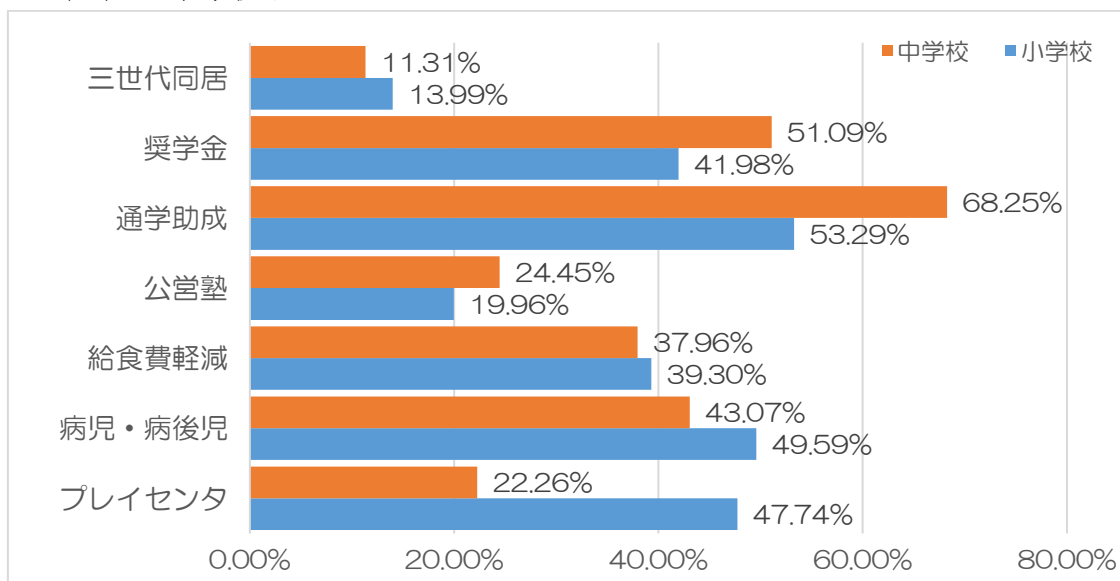
(1) 全体

n=760



子どもプレイセンター（屋内の遊び場の設置）	293	38.55%	5
病児・病後児保育	359	47.24%	2
学校給食費の軽減	295	38.82%	4
公営塾の設置	164	21.58%	6
通学助成	446	58.68%	1
給付型又は一部返還免除型の奨学金制度	344	45.26%	3
三世代同居支援（三世代同居に要する家の改修や建設費などの支援）	99	13.03%	7

(2) 小中学校別



小学校

n=486

子どもプレイセンター（屋内の遊び場の設置）	232	47.74%	3
病児・病後児保育	241	49.59%	2
学校給食費の軽減	191	39.30%	5
公営塾の設置	97	19.96%	6
通学助成	259	53.29%	1
給付型又は一部返還免除型の奨学金制度	204	41.98%	4
三世代同居支援（三世代同居に要する家の改修や建設費などの支援）	68	13.99%	7

中学校

n=274

子どもプレイセンター（屋内の遊び場の設置）	61	22.26%	6
病児・病後児保育	118	43.07%	3
学校給食費の軽減	104	37.96%	4
公営塾の設置	67	24.45%	5
通学助成	187	68.25%	1
給付型又は一部返還免除型の奨学金制度	140	51.09%	2
三世代同居支援（三世代同居に要する家の改修や建設費などの支援）	31	11.31%	7

4 「病児・病後児保育」の利用料金は、いくらぐらいが適当だと思われますか。

病児・病後児保育が必要と回答した件数	有効回答	未記入・無効回答*	その他
359	276	82	1

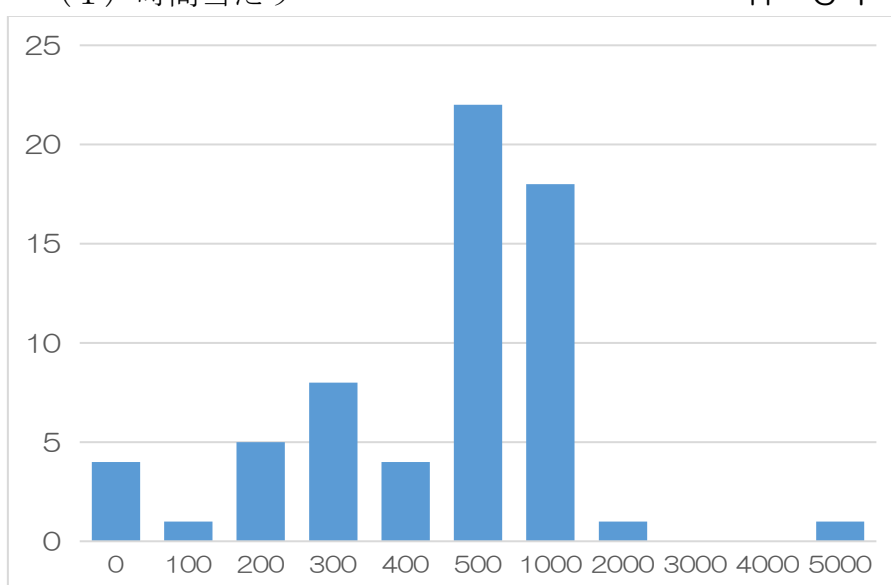
※未記入・無効回答…「病児・病後児保育」を選んでいるが回答のないもの、時間当たりか1日当たりかの回答がないものなど。

※「その他」は、「通常保育と同料金」

※「無料」の回答は時間当たり、1日当たり、それぞれでカウント。

(1) 時間当たり

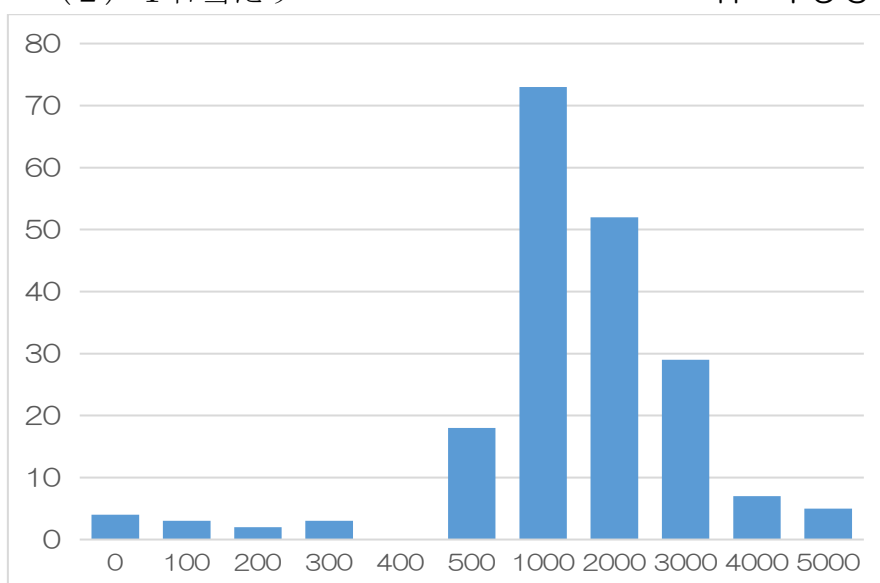
n=64



0	4
100	1
200	5
300	8
400	4
500	22
1000	18
2000	1
3000	0
4000	0
5000	1
平均	630.8

(2) 1日当たり

n=196

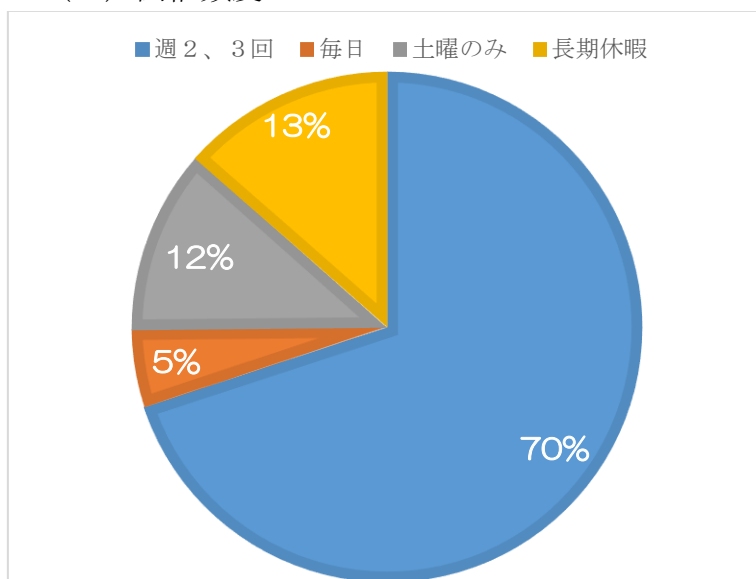


0	4
100	3
200	2
300	3
400	0
500	18
1000	73
2000	52
3000	29
4000	7
5000	5
平均	1658.9

5 公営塾の開催頻度、月謝等について適当だと思われるものに☑をつけてください。

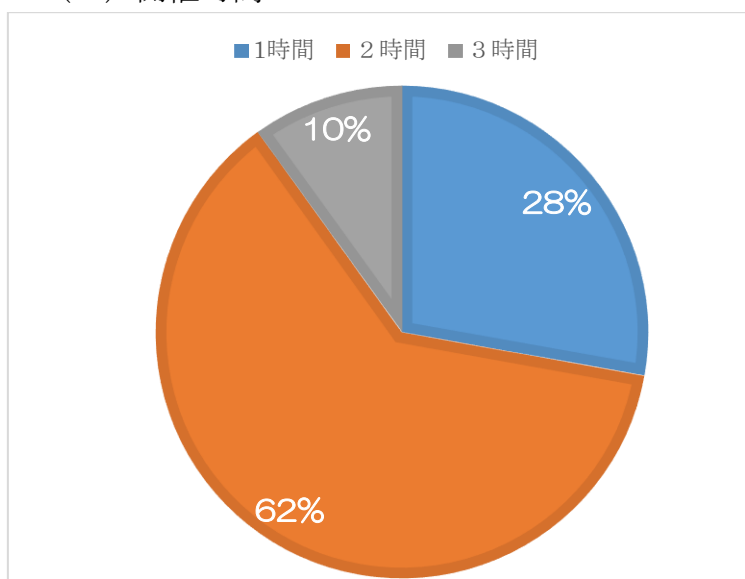
公営塾が必要と回答した件数	有効回答	未記入・無効回答*	その他
164	159	5	1

(1) 開催頻度



週2,3回	114	69.51%
毎日	8	4.88%
土曜のみ	19	11.59%
長期休暇	22	13.41%
計	164	

(2) 開催時間

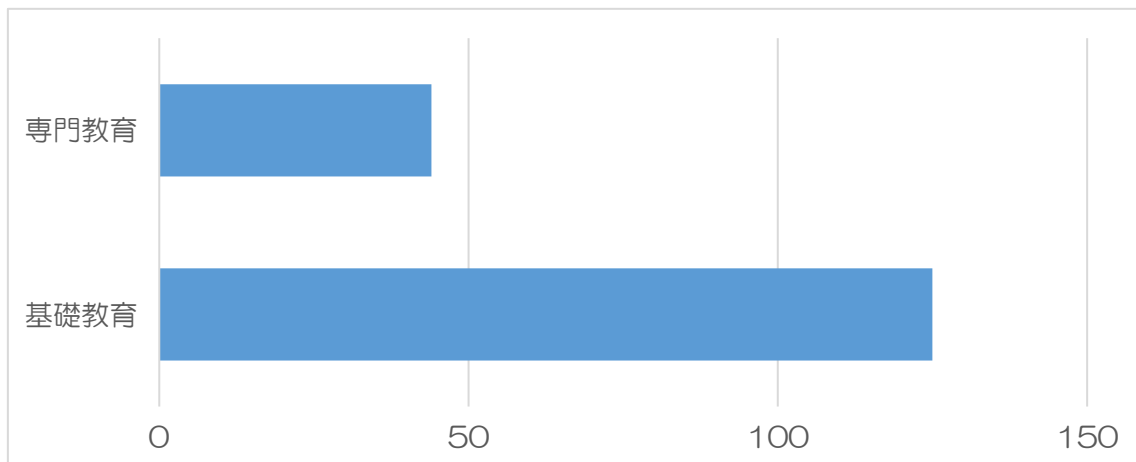


1時間	42	27.81%
2時間	94	62.25%
3時間	15	9.93%
計	151	

(3) 基礎教育／専門教育の別

※基礎教育…学校の学習で不得意とする内容を主としたもの

※専門教育…自身の進路希望を叶えることに特化したもの



基礎教育	125	76.22%
専門教育	44	26.83%
	164	

(4) 月謝

5,000円	123件
10,000円	10件
その他（自由記載）	
1,000円	1件
2,000円	5件
3,000円	11件
4,000円	2件

6 自由記載枠

■ 出産祝金に関すること

- ・長男が生まれたころには出産祝金がありました。本当にありがたかったです。なぜこのような子育てに関するものが無くなってしまうのか…。入学祝金や修学旅行の補助をしている所もありますよね？こういった事をやって欲しいです。
- ・子供が産まれた時に祝金があれば、皆兄弟・姉妹を増やそうと思う意識があがるのではないかな。
- ・出産祝い金(第2子以降だけでも助かると思います)
- ・以前は出産祝金や入学祝金を支給してもらって大変助かっていました(長女)。我が家には幼児はもういませんが、そういう支給があると今から子育てする家庭にはすごく助かると思います。

■ 保育に関すること

○ 保育料に関すること

- ・保育料の軽減
 - ・保育料の無料化
 - ・世帯所得に関係なく幼児教育無償化
 - ・保育料、他町では免除されている。
 - ・所得に応じて保育料がちがうところ。一律にしてほしい。保育料の見直し。
 - ・保育料の軽減
 - ・保育料の軽減をもっとしてほしい。
 - ・保育料に関しても自営の家庭の保育料が安いのはどうかと思う。親いるのに安いのは、母子だけなら分かりますが。
 - ・保育料の軽減
 - ・保育園の費用軽減(それが目当てで他の町に住んでいる方がいるので…)
 - ・保育料の軽減!!!
 - ・保育料の軽減
 - ・医療費、保育料など もっと安くなるとみんな子供を産みたいと思わない。今でこそ月1000円になってよかったけど前はすごく負担が大きかった。
- #### ○ 保育時間に関すること
- ・保育時間の標準を延長、休日も対応してほしい。
 - ・保育園の受け入れ時間の延長。
 - ・休日保育

○ 施設、運営に関すること

保育園に入りやすくしてほしい(先生の確保、未満児)。

町立保育所が次々無くなっている。一つは残すべきだと思う。

保育園を増やしてほしい。

未満児保育の充実

■ 医療に関すること

○ 医療費に関すること

・病院代無料化(小学生、中学生も軽減)

・医療費の助成。すごく助かっています。

・子育てのしやすい環境づくりには、まず医療費の助成の充実だと思います。現在の助成ではまだまだ不十分です。せめて中学校卒業までは、医療費無料にしていきたい。毎月1回の通院でも必ず1000円かかるのは苦しい家計にとっては痛手です。月をまたぐと同じ内容の診察でも1000円必要なのはきついです。

・医療費免除の拡大

・医療費の助成。現在小学校入学前までは月 300 円、小学校に上がると月 1000 円になっていますが、他の県や町では無料の所もあるので、川南町もそうなればいいなと思います。

・子ども医療費助成をこれからも安定して続けてほしい。

・医療費助成(インフルエンザ予防接種等含む)

・高校生まで病院診察代無料化

・歯の矯正に対する助成。

・医療費軽減

○ 医療機関に関すること

・町内に病院が少ない(専門医)

・近代医療を導入した産科、婦人科、小児科が町内に欲しいです。

・病院(小児科外来)

・小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科などの専門病院が必要だと思います。みんな町外受診で苦労しています。

・病院(小児科、皮膚科、耳鼻科)を町内に増やしてほしい。

・小児専門病院

○ 手続きに関すること

・病院利用時の補助手続きの自動化

・ひとり親医療費など、立替えるのもなかなかキツイので、医療証を見せることで、窓口で支払わなくてもいいようにしてもらいたい。給食費なども支援が決定したら、支払わなくていいようにして頂けたらありがたいです。

・母子家庭の医療費(子供の分)を他の世帯と同じように千円の支払いにして欲しい(申請へ行く時間がありません。)

■一時保育、病児・病後児保育に関すること

- ・ベビーシッターや一時預かりの充実
- ・ベビーシッター制度
- ・都会はベビーシッターをお願いできる。例えば保母経験のある年金ぐらしの方や登録制にしてお金を払ってベビーシッター制度を作ってくれるととてもありがたいです。
- ・ファミサポ、病児保育の充実は急ぎ必要だと思う。近くに身内がいても、頼れない状況にある人は多いし、同居でも気を使う素人に預けるよりも、プロに預けたほうが安心して仕事に向かえる母親は多いです。
- ・保育所へむかえに行ってから、夕食の準備や家のしまい事をはじめの頃2時間くらいに子どもをみていて遊んでくれるサービスがあると大変助かる。
- ・日曜日など急用等ができた場合預ける人が居ない親のために日曜日にも子供を預けられる施設があると助かる(有料)。
- ・日曜日の仕事の時に見てくれる人がいるとよいと思う。送迎ができない時の助けがあるとよいと思う。

■放課後児童クラブに関すること

○ 設置に関すること

- ・各学校ごとに1つは学童ができる場所を設けてほしい。
- ・放課後児童クラブの各校設置。
- ・山本地区の長期休暇時以外の児童クラブの設置
- ・児童クラブ(放課後)ない学校があるので、困っている。
- ・学童→平日！！共働きできません。
- ・山本小に児童クラブ(平日の)をつくってもらいたい。
- ・山本小に児童クラブ、放課後クラブを行ってほしい。
- ・山本小学校にも児童クラブの常設をお願いしたいです。
- ・川南小学校には児童クラブがありとても助かっています。他の小学校の保護者から、自分の子どもの通う小学校にも必要だという声をよく耳にします。
- ・各小学校に学童(児童クラブ)を設置してほしい(安心して仕事ができない。仕事を辞めないといけなくなる(理由))
- ・放課後支援センター(東っ子教室)等助かります。継続してほしいです。

○ 時間に関すること

- ・児童クラブを利用させてもらってますが、8:00~18:00では通常仕事務めるには朝8:00~では何の意味もありません。せめて7:00~にしてもらえるといいのですが
- ・放課後、土よう日の児童クラブを作してほしい。土よう日は、1日みってくれる人が居ないので、仕事をしてるので、困ってます。

○ 料金に関すること

- ・児童クラブへの補助費
- ・児童クラブの軽減

■ 子どもの居場所に関すること

- ・子どもたちが安全に遊べる場所、遊具を増やしてほしい。学校や公園等の遊具の改善などを願いたい。図書館の本、絵本を増やしてほしい。
- ・子供が安全に遊べる場所の確保(道路が近くでない等)。
- ・遊べる場所を増やしてほしい(遠出をしないといけない。)
- ・放課後に児童が集まる施設。児童クラブ以外で。
- ・児童クラブや元気っ子サークルのように放課後の活動を増やしてほしい。いろいろなスポーツにふれたり等…。少年団のようにどのスポーツを限定したくないし、休みの日は家庭でござるので…。あと、中学校の部活動も平日・土・日びっしりにしなくてよいと思う。先生の為にも家族のためにも。
- ・トロンドーム等屋内で遊んだり、アスレチックが出来る施設が欲しい。
- ・トロンパレットのような居心地の良い場所を沢山作ってほしい(家から歩いて行けるキョリにあると行きやすい)。
- ・子供が休みの日でも遊べる施設があると遠くに行かなくても近くで遊べるので。
- ・子供達が安全にあそべる場所を増やしてほしい。
- ・運動公園の施設の充実
- ・遊び場を安全な設置を。

■ 中学・高校に関すること

- ・私立・公立の高校の授業料を無料にすること。
- ・私立中学校への経済的支援の制度を町からも出してほしい。2017年度から国の支援は始まりました。
- ・高校生になると、子育て支援、児童手当はなくなります。1番お金が必要な時に…。川南には高校はなく結局電車やバスを使って高校へ通っています。通学費用をなんとかしてもらえないですか！！

・乳幼児期の支援も大事だと十分に理解できるが、高校・大学と進学についてもかなりの負担を要します。入学金、授業料(校納金)、制服代他、少しでも支援があると高校進学のはばも広がると思います。

・一番お金のかかる中学・高校の時に支援してほしい(現在中学・高校育兒中)。給食費の無償化(中学)。中学生までは手厚く支援していただいておりますが、高校生になると通学や副教材費や部活動費などが非常に多くかかり、生活が苦しくなっていくので、高校生まで幅広く支援して欲しい。

・子供が小さいときに中学・高校では、これだけお金かかりますよ！だからこれだけ支援しますよ！！とわかっていれば、先を見すえて将来設計がしやすいと思います。

・児童手当を18才までにしてほしい。中学、高校とお金がかかる為なんらかの支援をしていただけると助かります。

■学力に関すること

・小学校では感じないが、中学では学力の差や他地域と比べると学力が低いのではないかと気になる。

・中学校の魅力が少ない。

・子供が小さいうちは良いが、高学年になるにつれ、宮崎市などへ移りたいと思ってしまう。

・早く合併して、学力を上げてもらいたい！！

・英語教育の充実

■相談体制に関すること

・限られたカウンセリングの場だけではなく、すべての教員がカウンセラーとしての視点を理解し、子どもたちに接することができるような教員教育の体制もお願いしたい。

・発達障害児の専門の相談窓口が欲しい。

・不登校の子供への支援

・子育てに対しての相談をどこにすれば良いのかわからない。

・育兒のサポート

■生活環境に関すること

○ 道路に関すること

・通学路に街灯を増やしてほしい。

・通学路に歩道を整備してほしい。

・山本小から自宅へ帰る際の横断歩道に信号がないのが不安。大型トラックがよく通る所で事故も多い所なので、込ノ口周辺の街灯が暗すぎて、ほとんど役割を果たしていない。夜道は真っ黒で、中高生の部活帰りなどが心配。何かあってからではおそいと思います。子どもが少ない地域の事も考えてもらいたい。

- ・自転車通学する子どもたちの道の整備
- ・通学道の整備(歩道(歩く所に色をつける etc)看板(スクールゾーン)を立てる)。
- ・道路(ほどう)をもっとしっかり作ってほしい。道路にスクールゾーンみたいに、ペイントして徐行と通学路のアピールをしてほしい。

○ 公共交通に関すること

- ・コミュニティバスを国光原中区域方面にもあるといいです。
- ・交通機関(バス、電車)等の回数を増やしてほしい。山手方面のバスが不便である。
- ・交通の不便さ、一部バスが通ってないなど。
- ・スクールバス等の検討。不審者が多いので、安全に帰って来るのか心配。朝は集団で行くので良いが(健康のためにも)帰りは1人になってしまう。
- ・支援ではないかもしれないけど、川南駅の朝がすごくあぶない。車の多さの中子供が渡ったりするのがすごくあぶない。事故(車対車)改善できたら(ロータリー等)と思います。
- ・学童や少年団活動の送迎
- ・少年団などの送迎

○ 公園などに関すること

- ・街灯、公園を設置してもらいたい。川南は、地域に公園が少なく遊ぶ場所がない。
- ・家の近くに少しの公園が欲しい。学校は近いが小さい子供のあそぶ場所がなく、子供みんな、休みになると、ゲームなどでどんどん学歴低下になると思います。
- ・運動公園は遠いので学校まで遠い子供、低学年は運動公園に行けません。
- ・学校のプールを開放してほしい。
- ・清瀬地区で小学生などあつまる場所がほしい。

○ その他

- ・ポストが近くにほしい。清瀬地区はポストがありません。子供の手紙を出すにはトロンまででないといけないのでぜひほしい。
- ・住環境の充実です。賃金が低い地域の割には賃料が高く部屋が狭い。=住みづらい。ファミリー世帯が住むには、あまりにも選択肢が少なくて厳しい。人口を増やすには魅力ある住宅(借家)の充実を希望します。
- ・耐震などの援助に加えて、家の建て替えやリフォームなどにも支援があると住み続けようと思える。

■コミュニティに関すること

- ・17:00以降の子どもの見守り支援。登下校時の見届け(地域の力の充実)。
- ・共働き世帯が安心して暮らせる支援。例えば、地域のつながり強化の促進、医療機関の充実、保育園、幼稚園の見守り(17時以降なども見届けてもらえるような)

・子供の帰り時間に合わせて、防災無線で地域の方々の見守りの声かけをしてもらいたいです。体力・学力が上がるよう幼稚園の頃から、そんな環境が整っているとよいな～と思いました。

・土曜日、長期休暇に家から(自転車などで)その子の力で行ける所に遊んだり、学んだり、奉仕作業を一緒にしてくれる大人(先生)がいるといいなあ。

■ひとり親家庭に関すること

・母子家庭に対する助成

・母子家庭への助成など、国や町はとでもして頂いており、感謝してます。ですが、母親1人に子供が3人以上いる家庭では給食費などとても負担です。審査でおちってしまうと、3人目は無料などにしていただけるととても助かります。

■アンケートに関すること

○ 全体に関して

・このようなアンケートに何回もこたえているが意味があるのか。川南が良くなっていく実感がない。

・年に何度かこのようなアンケートがありますが、それに対する町からの返答が欲しい。

○ 公営塾に関して

・公営という事で無料を望みます。ただし出席状況、達成度を見ながら、基準に至らなければ有料とすることも必要だと思います。

・公営塾ができてくれると助かる。週2、3日→1時間、土曜日→2～3時間、放課後児童クラブなどの充実

・塾の送り迎えの支援もあつたらよい(父子家庭)

・公営塾があるといいとは思いますが、上記のような金額では公営である意味があるのでしょうか？私塾と変わらないような金額ならば無理だと思います。

○ 病児・病後児の料金について

・児童手当が出るぐらいならそれでまかなってほしい！税金からでもいいと思う。

料金わかりませんが、微熱でも看護師がいて様子を見て下さったら助かります。

病気の種類によって異なると思います。

・それこそ子供手当が出るくらいだったら町(何のために高い税金を払っているか)でまかなってほしいです！！もっと税金のつかい道を考えてほしい。メリットはいくらでもあると思います！

○ その他

通学助成があると良いと思います。特にバスの利用者は電車に比べて3倍くらいの費用がかかるので。

・給食費の無償化。

- ・学校給食費について、他町では半額を町がふたんしている。
- 大学までのお金の奨学金制度。その奨学金を受けた人は川南町に何か貢献させる工夫をする。
- ・長女は大学に行っており教育費にお金がすごくかかります。援助してもらえるのは住民税がかかってない所とか…。当てはまらないからといって裕福な訳ではありません。あと男の子2人待ち構えているので、不安です。給付型を拡大して欲しい。

■職業環境に関すること

- ・育児中の母親を雇用する側の意識改革
- ・経営者、管理職の男性の考え方、理解度が不足している事が共働き夫婦(母親)にとって負の要因の1つ。
- ・子供が小さくても安心して働ける職場
- ・企業(仕事)の理解

■その他

- ・子育て中の人にやさしい町にしてほしい。今から生む人よりも今子育てしている家庭を助ける町ならみんなが住みたいと思う。
- ・希望できない町なので。特になし。
- ・いろいろなサービスを選択で利用できるとうれしい。いらぬものもけっこう多くあります。
- ・スポーツが好きなのでスポーツ施設の完備や運動公園グラウンドやランニングコース1Kor2Kの整備、増設など
- ・川南町は他町に比べ、子育て支援の意識が薄すぎる。今の少子化問題に逆行している。町の財政を保ちたいなら一番力を入れるべきなのは誰でもわかる事。子供をこの町で生もう、育てようと思える町にすべき。
- ・収入と子供の人数によって金銭的な面でいろんな対策を考えて欲しい。昔はあった3人目からの出産手当てを出してほしい!!!木城町みたいに修学旅行や宿泊学習でかかるお金を町が少しでもだしてほしい。みんな木城や都農に引っこして行きますよ!山手に住宅を作らないと山本小は確実になくなります!新婚家庭よりまず子供がいる家庭を考えるべき!赤ちゃん訪問はいらない!
- ・子供が多い家庭への金銭的援助(中学生以下が3人以上等)(家賃、住宅ローン等の一部助成)。
- ・学校などの建物がかなり老朽化が進んでいるのに、耐震工事が施されていないのが心配。
- ・子どもを増やしたいなら、木城町のように子育て支援にもっと力を入れないと増えないと思う。今の川南町で子どもを産んで育てようと思わなかったので(当時も)2人以上産めなかった。

・使わなくなった学用品、制服等をゆずる(個人間でなく)又は学校に寄付し、必要な人に渡す。こういうのも良いのではないのでしょうか。使えるのにもったいない！！子供はすぐに大きくなりますから。

・保護者が色々な事に参加(出しゃばり)しすぎて、自立できない子供が多すぎる。

・子育て中の税金の軽減。国保の保険料が高い。年間90~100万円かかる。所得で計算されているとはいえ、個人事業や会社経営の人は大変です。児童手当でも減額され、税金は高くなる…。子供を3人産んでも得した！！とは思えない。

・イベントの充実(土、日)

・安心して出産、子育てができる街づくりと並行して、いろんな分野で活躍できる人材を育てる環境づくりも視野に入れて、専門分野の教育にも力を入れて、優秀な人材を育てやすい街づくりも目指して頂きたい。子供の教育には本当にお金がかかるのでその辺の支援もあるといいなーと思います。

・教育費にとにかくお金がかかります。子育てにお金がかかりすぎると思います。

・教育費の軽減(保育料、給食費)

・少人数の学校の卒業アルバム個人負担の補助

・税金の免除や学校教育費の減免(諸経費を含む)

・子供手当を18才までにする。または、金額を多くする。

・どの家庭でも平等に支援を受けられる策がいいと思います。

・児童手当の金額の見直し(金額をあげてほしいと思います。)

・偽装離婚が多いのでしっかり調査してほしい。子供の人数により学費支援等あればと思います。

・重度障害があるこどもの為にもいろんな支援をしてほしいです。例えば、重度障害のあるこどもたちが行ける施設(日中一時、放デイなど)や入浴加算など

・特別支援学級、発達障害児への支援の充実

・小学校3~6年生のクラス40→30人。

就学祝い金(〃)修学旅行補助金

・小中学生は義務教育なので給食費があつたとしても授業料免除。中学生は部活動したくても部費が発生し、負担になり部活動もできない家庭等もあると思うので、そういった学校に関わる出費の軽減があると子供を産む人も増え安心して義務教育を受けさせる事が出来ると思う。

・食育

・塾よりも小さい子供、妊娠中の人への支援があつてほしい。これからを支える子供達のために！

子育てにかかわる支援事業アンケート

1 この調査票を持ち帰ったお子さんとご家族の状況について教えてください。

問1 ご兄弟で、このアンケートを受け取った子がほかにいますか？

いる いない → 問2以降も回答をお願いします。

いアンケートを受け取った子のうち、もっとも年齢の高い子のアンケートに教えてください。そのほかの子のアンケートについては、以下の設問には答えず、提出してください。

問2 この調査票を持ち帰ったお子さん及びご兄弟の年齢（平成29年4月1日現在）・性別について教えてください。

	性別	年齢	持ち帰った子に○
第1子	男 ・ 女	歳	
第2子	男 ・ 女	歳	
第3子	男 ・ 女	歳	
第4子	男 ・ 女	歳	
第5子	男 ・ 女	歳	
第6子	男 ・ 女	歳	

問3 近くにおじいちゃん、おばあちゃんが住んでいますか？

いる → 同居

町内 () 分ぐらいの距離

町外 () 分ぐらいの距離

いない

裏面に続きます。

2 子育て支援策について

問4 以下の支援策のうち、「安心して出産、子育てができるまちづくり」に必要なと思われる策の番号に○をつけてください（○はいくつでも）。

- 1 子どもプレイセンター（屋内の遊び場）の設置
- 2 病児・病後児保育
- 3 学校給食費の軽減
- 4 公営塾の設置
- 5 通学助成（高校への通学支援）
- 6 給付型又は一部返還免除型の奨学金制度
- 7 三世帯同居支援（三世帯同居に要する家の改修や建設費などの支援）

問5 前問で「2 病児・病後児保育」を選択された方のみお答えください。
病児・病後児保育の利用料金は、いくらぐらいが適当だと思われますか。

（ 円 / 時間 ・ 日 ）

問6 問4で「4 公営塾の設置」を選択された方のみお答えください。
公営塾の開催頻度、月謝等について、適当だと思われるものに☑をつけてください。

- ① 開催頻度 週2、3日 毎日 土曜のみ 長期休暇時のみ
- ② 開催時間 1時間 2時間 3時間 その他（ ）時間
- ③ 塾の内容 基礎教育…学校の学習で不得意とする内容を主としたもの
 専門教育…自身の進路希望を叶えることに特化したもの
- ④ 月謝 5,000円/月 10,000円/月
 その他（ ）

問7 その他子育てに関し、必要と思われる支援等がありましたら記入してください。